

(メッセ海外通信 2014年4→6月号掲載記事)

～青島世界園芸博覧会～

下関市総合政策部国際課
(青島市派遣職員)
木下 清治

みなさん「世園会」をご存知ですか？

「世園会」とは、「世界園芸博覧会」の略称で、花と緑をテーマにした園芸の国際的な博覧会のことです。日本語では「園芸博」と略した方がわかりやすいですね。この「園芸博」が、ここ中国・青島でついに始まりました。日本から下関市・京都市が出展しています。

青島園芸博は、正式名称を「2014年青島世界園芸博覧会」と言い「暮らしを自然とともに」をテーマに、2014年4月25日から10月25日までの予定で開催されています。マスタープランを7300万人が来場した上海万博と同じ同済大学副学長の呉志强教授が担当し、会場の広さは、総面積241ヘクタール、なんと東京ドーム約52個分の広さです。テーマ別に12のエリアに分かれています。特に興味を引くのは、中国国内の各地方を表現した「中華エリア」と、日本を含めたアメリカ・イギリス・フランス・ドイツ・アフリカ・韓国・メキシコなどが出展した「国際エリア」です。開催期間中の予想来場者数は1200万人、下関の人口が約27万人なので、開催期間中、全下関市民が約44回、約4日に1回来場する計算になります。少しは規模の大きさが伝わりますでしょうか？

もちろん、公式マスコットキャラクターも作られており、名前は「青青（セイセイ）」で「海の精霊」をイメージしているそうです。会場内はもちろん、青島市内のいろいろなところで様々な関連グッズを買うことができます。



公式マスコットキャラクター 青青



下関展示園イメージ

チケットは、「入場日指定券」は160元（約2600円（平成26年5月10日現在））、「平日普通券」は120元（約2000円）など7種類。「平日普通券」は、会場内でも購入可能だそうです。しかし、来場者が多い日は入場制限を行う可能性があり、あらかじめ「入場日指定券」を購入しておいた方が安心して入場できそうです。

会場が市内中心部から少し遠いところにあるため、タクシー、バスなどで行く必要があります。青島市内中心部から会場までは、タクシーで40分～60分（約600元程度（約1000円））。バスの場合、青島市内各所から臨時バスなどいろいろ出ており、格安で行くことができますが、時間もかかるうえ、乗り換えが必要な場合もあり、初めて青島に来た方にとっては、少し難しいかもしれません。

今年は、下関市・青島市友好都市締結35周年にあたるため、下関市長が青島市を訪問する予定です。青島市において様々な記念イベントが開催され、下関市内の民間団体が構成される市民友好の船実行委員会が発起した青島友好の旅を下関市内の旅行会社が企画しています。園芸博の見学はもちろん、青島市政府主催の記念晩餐会（7月11日（金））にも参加できるなど特別な企画も用意されています。初めて青島に来た方も安心して会場を見学できるこのツアーに参加し、是非このような特別な年に青島を訪れてみてはいかがでしょうか？